

【専門分野】

臨床心理学、発達心理学、学校心理

【主要担当科目】

（学部）カウンセリングの理論、カウンセリングの実技、教育カウンセリング
（大学院）臨床心理学特論Ⅱ、臨床心理学査定演習Ⅱ

【研究テーマ】

異文化接触時の心理で、特にアイデンティティについて研究している。
海外日本人留学生の心理的健康とアイデンティティの関連

【略歴】

明治学院大学文学部心理学科卒。お茶の水女子大学人間文化研究科博士後期課程単位取得退学。博士（人文科学）。

【主要研究実績】

- ①発行または発表の年月
②著書・論文等の名称 ③単著・共著の別 ④発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称
⑤編者・著者名（共著の場合のみ記入） ⑥該当頁数

【著書】

2015年2月

「異文化接触における民族アイデンティティの役割—自我アイデンティティとの関連から—」単著
風間書房

2018年5月

公認心理師受験対策WEB講座「心理技法 力動的」共著（株）チーム医療 Lesson43(p.1-3)
(<https://www.iryu.co.jp/lessons/%e5%8a%9b%e5%8b%95%e7%9a%84-2/>)

2018年5月

公認心理師受験対策WEB講座「心理技法 人間性心理学」共著（株）チーム医療 Lesson45(p.1-3)
(<https://www.iryu.co.jp/lessons/%e4%ba%ba%e9%96%93%e6%80%a7%e5%bf%83%e7%90%86%e5%ad%a6-2/>)

【論文】

2014年3月

「日本語版「専門家による心理的援助を求める態度尺度（ATSPPH-S）」の信頼性・妥当性の検討」共著
ルーテル学院研究紀要 47 植松晃子、橋本和幸、小室安宏 1頁～12頁

2014年3月

「医療系大学の新入生を対象とした学生相談室への認知—年度別男女別の比較—」共著 了徳寺大学研究
紀要 第8巻 橋本和幸、植松晃子、小川 歩、松本 恭実、小室 安宏 63頁～78頁

【講演・発表等】

2014年8月

「心理的問題への専門的援助を妨げる要因と促進する要因—大学生に対するアウトリーチ対策を検討するⅡ」第33回日本心理臨床学会大会 ポスター発表 植松晃子、橋本和幸

2015年1月

「中国の青少年は何に悩んでいるのか」国際交流基金講演会 講演者 李樺、司会 阿古智子、コメン
テーター 植松晃子

2017年3月

日中知的交流強化事業 中国知識人招聘 レクチャー

2017年9月

「外国につながる人たちの「居場所」」日本心理学会第81回大会 公開シンポジウム 企画者・司会者：鈴木一代、小林亮 話題提供者：植松晃子、具 英姫 指定討論者：佐野秀樹

2017年9月

「日本人海外渡航者における滞在時期ごとの自我アイデンティティと集団アイデンティティの関係」日本心理学会第81回大会 ポスター発表

2017年11月

「大学生の心理的問題における援助要請態度」日本心理臨床学会第36回大会 共同発表（植松晃子、橋本和幸、高城絵里子）ポスター発表

2017年11月

福島トラウマ心理療法センター「希望の市民大学」講演「アイデンティティ：言葉、声、身体」

2018年9月

「日本人海外渡航者の心の「居場所」—異文化接触時のアイデンティティ—」日本心理学会第82回大会 公開シンポジウム「ありのままの自分を求めて：グローバル社会と『居場所』」（話題提供者）

【学外研究費】

2012年度～2016年度 科学研究費助成事業 若手研究(B)「海外日本人留学生の心理的健康とアイデンティティの関連」（研究者番号 90614694）

【学会等および社会における主な活動】

臨床活動

東京歯科大学附属市川総合病院 精神科 非常勤臨床心理士

PAS 心理教育研究所（兼任セラピスト、多元福祉統合集団精神療法「たこ天」コミュニティーリーダー）

国際力動的心理療法学会（理事選挙 選挙管理委員会委員、研究発表（リサーチ）座長／大会事務局 受付）

十文字学園女子大学 紀要論文 査読

ルーテル学院大学臨床相談心理センター 紀要論文 査読

福島トラウマ心理療法センター「主張訓練 SET」トレーナー

【趣味・関心事】

歌舞伎鑑賞、ミニバラ栽培